

地区名	稲津地区	番号	1
タイトル	主要地方道瑞浪大野瀬線の道路改修事業について		
ご意見の内容			
<p>下小里交差点から萩原橋に至る区間の道路改良工事（歩道新設）についてお尋ねする。</p> <p>（１）現在の状況について 令和2年10月9日に稲津公民館にて開催された説明会以降、現在に至るまでの進捗状況について説明願います。</p> <p>（２）今後の予定と展望について 地元では、歩道も無くカーブもきつい危険な現況から、早急な事業展開を期待しております。今後の予定について説明願います。 また、本事業の早期完了に向けて、地元で取り組める事項等がありましたら併せてご教示願います。</p>			
市長の回答	担当課	土木課	
<p>（１）令和3年度の岐阜県補正予算において事業化され、現在、用地買収の準備として、用地の測量業務を行っているところである。令和4年7月頃には地権者との境界確認のための現地立会いを予定しているので日程が決まり次第、地権者、役員の方々に連絡させていただく。</p> <p>（２）今後、道路拡幅に必要な土地の地権者に対し、用地の協力をお願いしていく予定である。まとまった用地が確保出来次第、順次、道路工事に着手していくと県より伺っている。地元の皆さんにおかれては、用地の確保や工事の進捗にご理解・ご協力をいただくようお願いする。</p>			

地区名	稲津地区	番号	2
タイトル	地域住民が考える旧稲津保育園跡地の有効活用について		
ご意見の内容			
<p>旧稲津保育園が取り壊された跡地（稲津町小里738-3）が今遊んでいるような状況である。</p> <p>私は稲津だけで孫が7人、幼稚園から中学校までお世話になっている。その中で子どもの遊ばせる場所が稲津には全くない。僕らが子どもの頃は町中全部が遊び場であったが、今は交通量等が随分違い、就学前の子どもたちのお母さん方が安心して子ども同士で遊ばすことができる場所が皆無である。子どもやお母さん方にいろいろな意見を聞いたところ困っているのが実情である。幼稚園の先生方にも伺ったが、園児の散歩コースも困っているということである。</p> <p>子どもは未来の宝であり、希望である。僕らが子どもの頃に比べて生徒数も随分と減ってきてはいるが、その中で他地域から来てもらおうといった時に遊ばせる場所がない、働く場所も少ないとなると、なかなか新しい人が稲津町に来ていただける要素が少ない訳である。</p> <p>このことも踏まえ、稲津の未来、瑞浪市の未来を考えるに、子どもたちが安心して遊べる場所、ハードの面もソフトの面も両方踏まえて、稲津町にそういう場所があれば希望となる。ぜひあの場所を子どもたちが安心していられる場所に提供いただけないかということで市長に実現をお願いしたい。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課 子育て支援課	
<p>現在、稲津町には稲荷神社、羽広、中洞、水洗に児童遊園地を4箇所整備している。市では遊具の点検を行い、また、新しい遊具の設置時には補助をしているため、活用していただきたい。また、稲津幼稚園では、毎週木曜日に子育て中のお母さん等が、子ども連れで遊べるように園庭を開放している。また、かつての稲津幼稚園の跡地に「子育て支援センターおんぶにだっこ」という立派な施設もあり、園庭も設けている。先生を2人配置し、午前中は未就園児のお母さん方の子育ての相談や、先生と一緒に遊んでいたたりしており、午後には子育て中のお父さんやお母さん等にも来てもらい、園庭でお子さんと一緒に遊んだり、相談できる施設となっている。</p> <p>そういったサービスを拡充する中で、今のご要望を少しでも叶えるような状況であるということをご理解いただきたい。今の跡地は公民館でのイベントの際に駐車場として使うなど有効に活用はしていただいていると思っている。</p>			

地区名	稲津地区	番号	3
タイトル	新型コロナウイルス感染症下における高齢者憩いの場の再開と公民館施設内の飲食制限緩和について		
ご意見の内容			
<p>社会福祉協議会稲津支部では、日頃出かける機会の少ない高齢者に憩いの場の提供とフレイル予防を目的とした「サロン寄ってこ」を平成29年5月から開催している。このサロンは好評で利用者も順調に増えていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公民館内の飲食が禁止されたことから、令和2年度から中止となっている。</p> <p>本年度になり、こうした制限が緩和され、感染症対策を講じて各種の事業が再開されているが、「サロン寄ってこ」については飲食禁止事項により再開出来ない状況にある。またこの間、外出機会の減少から寿大学等の催しに参加意欲を無くす高齢者もみられ、町民からサロンの再開を求める声も大きくなっている。</p> <p>こうしたことから、公民館内における飲食制限を見直し、サロンを再開することによって町内高齢者の生活支援を行いたいと考えている。</p> <p>また、各町の地域公民館は、中央公民館と異なり公民館機能のみならず、町民祭をはじめとした地域イベントの要の場所であり、地域のまちづくり活動の拠点機能を兼ねている。</p> <p>こうした活動においても飲食による楽しみは、子どもから高齢者まで幅広い層から人気が高い。そういった視点からも、公民館での飲食制限を見直し、こうした活動が以前のように活発に行われ、稲津の町に笑顔と元気が戻ってくることを願ってやまない。</p>			
市長の回答	担当課	社会教育課	
<p>まだアフターコロナと言える状況ではないが、ウィズコロナと言うことで、コロナを警戒しながらも普通の生活を取り戻していかなくてはならないのがこの令和4年度からではと思っている。国でもマスク緩和の施策を打ち出し始めているので、国や県の施策の動向を注視しながら瑞浪市も対応していきたいと思う。</p> <p>瑞浪市もこいのぼり祭や市民体育大会も3年ぶりに開催し、多くの皆さんに参加いただき盛況であった。その後、保健所と連携し、こいのぼり祭や市民体育大会で新たに新規感染者が増えないか危惧していたが、感染が広がる事例はなかった。市としてもできる限り、中止やリモート開催をしていた会議やイベントを対面でやっていく方向で進めている。</p> <p>ただ飲食に関しては、マスクをとることになり、まだ心配な状況ではあるため、完全に免除という訳にはいかないと思っている。国の方針として、公民館活動などの中で飲食が必要な場合は感染防止対策を講じた上で大声で騒がなければ、開催できるということで緩和されてきている。ソーシャルディスタンスを取りながらの開催であれば、飲食しながらでも始めていただけるのではないかとと思う。ただゼロになった訳ではないので、警戒しながらやっていただくことにはなる。</p> <p>また、区のイベントをやるようになった際に1人の反対でやむなく中止になったという話もよく聞く。皆さんの声を聞きながら感染防止対策、ソーシャルディスタンスを取りながら始めていただければいいと思う。</p>			

地区名	稲津地区	番号	4
タイトル	(1) 周辺のまちづくりについて (2) 市長の資質について		
ご意見の内容			
<p>(1) 周辺のまちづくりについて  イベントや域学連携の中で中学生や高校生の本音を聞いて反映してもらいたい。新しい若い力を誘導することで、その力が拡大していくと思う。どんなに時代の闇が深くとも負けてはいけないという魂が燃えている限り瑞浪は明るくなると思う。</p> <p>(2) 市長の資質について  私は、1 決断力、2 知識、3 エネルギー、4 精神力が必要だと考える。中でも精神力を養うために、自らに精神的な義務を課す以外にない。精神力が生成されるのは心の内においてである。強靱な精神の試練を勝ち抜く中で精神力が鍛えられる。最も困難なのは理想を持ちながら、現実的であり続けることである。併せて現実を見た時に理想を待ち続けることも必要である。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課 企画政策課	
<p>(1) 若い人たちの意見をもっと聞くようにと話があったが、域学連携ということで、地域と学校の先生方や生徒と行政が連携し、地域の活性化や課題解消に取り組んでいる。今年度、中・高校生、大学生30人ほど集まり、市長と語る会を行う予定である。その席で若い人たちの瑞浪市に対する思いを聞かせてもらいたいと思っている。この市長と語る会も各地区の公民館で行い、最後には中・高校生、大学生、社会人の若い人たちで集まり市長と語る会を開催したいと思っている。今日お集まりの皆さんの意見も聞かせていただくが、将来この瑞浪市を担っていく若い人たちの意見を第7次瑞浪市総合計画の中に反映しなければならぬと思う。</p> <p>(2) 今お話があったことを肝に銘じて取り組んでいるつもりであり、これからも継続して取り組んでいく。精神力はもちろんのこと、健康でないと素晴らしいアイデアや知恵があっても実行に移すことができないため、まずは自己管理をしっかり行い、健康な体を維持しながら強い精神力、決断力を持って市政に取り組んでいきたいと思う。</p>			